ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-2	調査位置				北　緯	36 ° 34 ’ 24.3181 ”
発注機関	栃木県真岡土木事務所			調査期間	2010-08-05 ～ 2010-08-18	東　経	140 ° 08 ’ 37.0996 ”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	176.64 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 25.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	8.25 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1 2 3	173.14	3.50	3.50		ローム (Lm)	淡褐			粘土化した火山灰である。 上部は木根混入。 全体に均質である。 1.90～2.00mに黄褐色軽石層を挟む。		
4	172.64	0.50	4.00		旧崖錐堆積物 (Tl)	褐灰			礫混じり粘性土。一部硬質安山岩礫を含む。		
					安山岩 (An)	暗灰			4.00～4.50mは強風化し、軟質で指圧で崩壊する。 4.50m以深は弱風化部と割れ目沿いに風化した部分とが交互にみられる。		
5 6						暗灰					
7						暗灰			5.50mのL70 ° の割れ目下方が風化。 6.60mのL10 ° の割れ目上方が風化。		
8	168.39	4.25	8.25								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0–10	10–20	20–30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	1/20	1		2/30	2
1.45					
2.15	1/15	1/8	1/7	3/30	3
2.45					
3.15	1	1	1	3/30	3
3.45					
4.15	2	4	8	14/30	14
4.45					
5.15	8	20	22	50/30	50
5.45					
6.15	6	7	10	23/30	23
6.45					
7.00	20	30/3		50/13	>50
7.13					
8.00	15	20	15/5	50/25	>50
8.25					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験

掘進月日: 08/17, 08/18